

## TRANSITION TO HEALTH (107)

### “ 新型コロナウイルス感染 ③ ”

～ ワクチンの **3回目接種** は **中止**されるべき？ ～

#### はじめに

ノーベル生理学・医学賞受賞科学者や一流の研究者・科学者、大学教授らが発する「ワクチンの**安全性**に関する**警告**」は、NGO「CCDH：**デジタルハイト対抗センター**」が、言論の自由を圧殺するような手法を用いて、SNS を経営する複数の私企業に対して働きかけ、一夜にして「**発信記事の削除**」「**動画の削除**」が為されてきた。そのため、一般の日本国民には彼らの発する「**必死の警告**」がなかなか伝わらず、発信されていた警告内容は歪められた形で「**デマ**」として伝えられてきた。

#### COVID-19 ワクチンに **ワクチンの資格なし**？

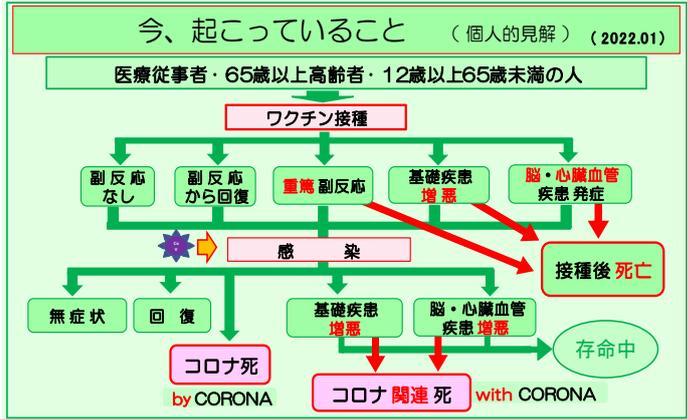
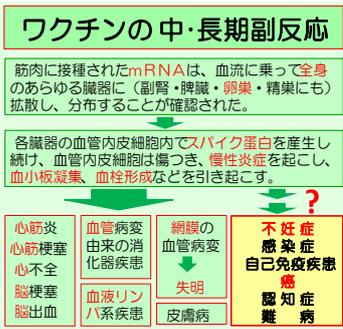
**安全性**を確認せず（**無視**？）、有効率 95%（絶対リスク減少率はわずか **0.71%**）を謳って始まったワクチンの緊急使用（**＝遺伝子組み換えワクチンの人体実験**）。いわゆる先進国を中心に一年以上にわたる 2 回接種・3 回接種（イスラエルなど）の結果、多くの**副反応死**（情報不足・評価不能で補償されない死亡事例）を出し、接種により**変異株**（変異体）を産み出し、予防効果はほとんどなく（説明書では**予防効果不明**とあった）、接種者ほど感染しやすいことが判明した（**ブレイクスルー感染**）。ならば「ワクチンとしての価値なし」と判定し、直ちに「**接種を中止**」し「緊急使用**承認を撤回**」すべきなのに「3 回目接種が遅れている」と追及する国会討論。製薬会社は「3 回目接種で死亡率〇〇%抑制」などと相変わらず都合のいいデータを出してくる。玩具や家電製品・自動車だったら、とくに商品回収、製造中止、リコール等々の措置が取られるのだが、**ワクチンは死者を出しても救われている**。一体この国は「国民の健康と安全」をどう考えているのか、不思議でならない。（個人的見解）

#### 接種完了者の **ブレイクスルー感染** で **基礎疾患** は **悪化**、**脳・心血管** 疾患も **発生**！

今現在（2022 年 2 月初旬）、オミクロン株によるコロナ禍でワクチン接種者に何が起きているのかを図示してみた。ワクチン接種後、制御できずに全身に分布してしまったワクチン由来の毒素・**スパイクタンパク**により**血管内皮細胞の ACE2 受容体**が攻撃され、血管内皮は**炎症**を起こし、**血小板凝集・血栓形成**を引き起こし、**脳血管疾患・心臓血管疾患**を発症することになる。**糖尿病**は**血管病変**を伴うことが普通であり、また、細胞性免疫の主役である**T細胞の活性化**は「**糖代謝の活性化**」に依存するので、糖代謝異常を有する**糖尿病**はワクチン接種により**悪化**してしまう。つまり、**ワクチンを接種しただけで脳血管疾患や心臓血管疾患を発症**し、また、糖尿病や脳・心臓などの**基礎疾患を悪化**させてしまうことになる。最悪の場合、短期間で死に至ってしまう。

**ワクチンの中・長期副反応**

2 回接種完了者が、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に感染すると、**ワクチン由来のスパイクタンパクとウイルスのスパイクタンパクの両方**の**スパイクタンパク**の攻撃を受け、インフルエンザ流行時を遥かに凌ぐ**基礎疾患**（糖尿病など）の**悪化**と**脳・心臓疾患**の発症を招き**コロナ関連死**が急増する。



## 第6波で「自宅療養中死亡」急増中、「自宅死亡」はイベルメクチンで救えるのでは

第5波のピーク時 2021年8月の一か月間の自宅死亡例は77件であった。その後9月は15件、10~12月は0件であった。ところが、第6波の先月(2022年1月)は27件あり、このまま感染が拡大し収束しなければ、自宅死亡例も増えてしまうのかもしれない。マスメディアは、自宅死亡事例の主な原因の一つとして「ワクチン接種の遅れ」を挙げている。ワクチンに「予防効果あり、重症化阻止効果あり」と考えれば当然のことであろう。



しかし、ワクチン接種先進国の現状を見れば、ワクチンには「予防効果も重症化阻止効果も期待できない」というのが本当であろうか。自宅で高熱が続く場合、市販の解熱薬を使用するのが通常で、死亡の大きな原因と考えられる。解熱薬で全身の熱を下げることによって免疫力が低下し、ウイルスの増殖を促進してしまうと考えられるからである。

自宅療養者には、医師からは何の薬も処方されてこなかった。もし、「イベルメクチン」の「初期投与・自宅療養者への処方」が認められていたならば、ほぼ全員の命を救えることができたのではないかと私は思っている。イベルメクチンはそれほど効果的で安全な「ノーベル賞受賞薬」であると私は認識している。

新型コロナ感染自宅療養中の死亡事例について(個人的見解) (2021.11)

	接種推進派的思考	接種慎重派的思考
要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 医療の逼迫</li> <li>* ワクチン接種の遅れ</li> <li>* 基礎疾患の増悪</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 医療の逼迫</li> <li>* 市販解熱薬の使用</li> <li>* 基礎疾患の増悪</li> </ul>
回避策	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ワクチン接種の拡大</li> <li>ワクチンで重症化を阻止できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* イベルメクチンの適応拡大承認 12mg 1錠(成人)の初期投与</li> <li>* 解熱は、薬物でなく冷療法で</li> </ul>

\* 『ウイルス感染症に“解熱薬は禁”』と考えるべき (理由) 解熱薬による深部体温の下熱は、免疫力を低下させ、ウイルスの増殖を促進してしまう。  
\* 『イベルメクチン』の「効果」「安全性」は、世界の複数の臨床試験で確認済み。

## ワクチン接種が変異体(変異株)を産む

TVに登場する感染症の専門家たちは「変異」を「コピーミス」と説明しているが、そんな単純なものではないであろう。

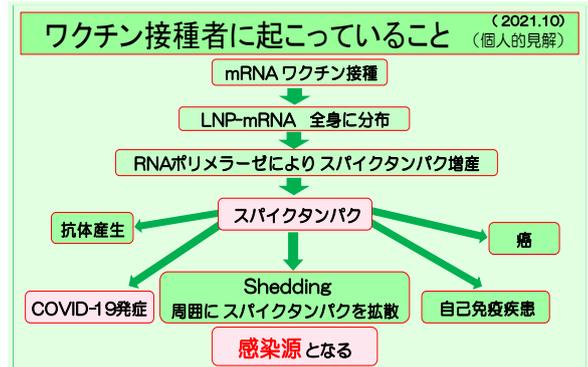
通常、ウイルスは感染した宿主(ヒト)に死なねば生き延びられないので、ヒトと共存するため、変異するのであれば弱毒化の方向に向かうであろう。一方、ワクチン接種を受けたヒトに感染して、ワクチン由来の抗体の攻撃を受けた場合には、その攻撃をすり抜けるために変異し、強毒化するのではなからうか、抗生物質の多用・乱用によって耐性菌が生まれてきたように。もし、ウイルスの強毒化が起こるとすれば、それは未接種者の体内ではなく、接種者の体内で起こると考えられる。したがって、致死率がインフルエンザと比較される程度であるならば、ブースター接種は中止されるべきであると私は考える。

ワクチンの変異株(変異体: variant)について(個人的見解) (2021.07)

ワクチン推進派	ワクチン慎重派的思考
<ul style="list-style-type: none"> <li>* ウイルスが変異して強毒化するかあるいは、弱毒化するかは不明である。自然の摂理による。</li> <li>* 毒性の強い変異株に備えた対策が必要である。</li> <li>* ワクチン接種は変異体出現の原因ではない。自然の摂理による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ワクチンを接種すれば、強毒化する可能性が大きくなる。</li> <li>* ワクチンを接種しなければ、ウイルスはヒトと共存するために弱毒化していく。</li> <li>* ワクチン接種が変異体(株)を産む。</li> <li>* ウイルスはワクチンの攻撃をすり抜け(フレイクスル)ようとして変異する。この時に強毒化する可能性がある。</li> </ul>

## 感染経路不明ではなく『接種者が感染源』か？

ワクチン接種完了者の体内で起こっているであろうことを図示してみた(右)。ワクチンの成分(LNP-mRNA)が心臓・脾臓・副腎・卵巣など全身に拡散されることはPfizer社も認めている事実である。また、ワクチン由来のスパイクタンパクが接種者の呼吸や汗・皮脂など分泌物に排泄されることもPfizer社は文書で認めている(sheddingという)。体内でスパイクタンパクが増産され制御できなければ、本物の新型コロナウィルスに感染しなくても発症するのである。つまり、ワクチン接種者はSARS-CoV-2(ウイルス)に感染しなくても、COVID-19(感染症状)を自ら発症し得るのである。当然PCR検査では陽性となる。そして周囲の人に感染させる。今、現実に3回目接種を終えた高齢入所者が濃厚接触なし(=感染経路不明)に発症し、更に看護師・介護職員に感染させているという事象が報告されている。マスメディアは「デマ」として一蹴するが、複数の著名なウイルス学者・専門家・科学者が「3回目ワクチン接種は死を招く恐れがある」「ワクチンを接種した人こそ隔離されるべきである」等々、警告を発している。



体内でスパイクタンパクが増産され制御できなければ、本物の新型コロナウィルスに感染しなくても発症するのである。つまり、ワクチン接種者はSARS-CoV-2(ウイルス)に感染しなくても、COVID-19(感染症状)を自ら発症し得るのである。当然PCR検査では陽性となる。そして周囲の人に感染させる。今、現実に3回目接種を終えた高齢入所者が濃厚接触なし(=感染経路不明)に発症し、更に看護師・介護職員に感染させているという事象が報告されている。マスメディアは「デマ」として一蹴するが、複数の著名なウイルス学者・専門家・科学者が「3回目ワクチン接種は死を招く恐れがある」「ワクチンを接種した人こそ隔離されるべきである」等々、警告を発している。

## おわりに

第5波の収束についてマスメディアでは「理由が分からない」「ワクチン接種の効果」等々といわれているが、デルタ株は弱毒変異体(株)であり、第5波の収束は「自然減」と考える専門家・研究者も多い。オミクロン株は、感染力は強いが重症化率は低く、幸いにも更に弱毒化しているようである。オミクロン株の世界的感染拡大は、人の移動による「ヒト→ヒト」感染を遥かに凌駕するスピードで拡散していたので、やはり、『ワクチン接種者=感染源』による同時多発的感染拡大と考える方が自然のように思われる。